
始良市新学校給食センター整備アドバイザー業務委託
事業者特定結果報告書

令和5年11月22日

始良市新学校給食センター整備に係る
アドバイザー業務委託事業者選定委員会

1 はじめに

始良市新学校給食センター整備アドバイザー業務委託公募型プロポーザル実施要領に基づき、参加資格を有する者を公募により募集し、始良市新学校給食センター整備に係るアドバイザー業務委託事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）による審査を経て最優秀者及び次順位者を特定しました。

2 特定までのスケジュール

令和5年10月6日（金）	第1回選定委員会
令和5年10月10日（火）	プロポーザルの公告
令和5年10月13日（金）	参加表明手続に関する質問の受付期限
令和5年10月16日（月）	参加表明手続に関する質問の回答日
令和5年10月18日（水）	参加表明書等の提出期限
令和5年10月20日（金）	企画提案書等の提出要請
令和5年11月7日（火）	企画提案書等の提出期限
令和5年11月16日（木）	プレゼンテーション及びヒアリング審査 第2回選定委員会
令和5年11月20日（月）	特定結果の通知

3 選定委員会

選定委員会規程第3条の規定に基づき、次の者をもって組織し、審査を実施しました。

委員長	副市長	宮田 昭二
副委員長	教育長	小倉 寛恒
委員	教育部長	北野 靖往
委員	総務部長	高山 八大
委員	企画部長	今別府 浩美
委員	農林水産部長	田代 信彦
委員	建設部長	有江 浩文
委員	財政課長	堂路 温幸

4 参加表明書等の提出状況

参加表明書等の提出期限までに、次の2者から提出がありました。公平性、公正性を期すために企業名等を伏せて、参加表明書等の提出順にA者、B者とそれぞれ割り振りました。

A者：株式会社佐藤総合計画 九州オフィス

B者：株式会社建設技術研究所 鹿児島事務所

提出された参加表明書等の審査を事務局が行い、参加資格を満たしていることが確認されたことから、2者に対して、企画提案書等の提出を求めました。

5 企画提案の課題テーマ等

審査項目	審査事項	
企画提案	課題テーマ	本事業へ地元事業者の参入が促進される効果的な手法
		総事業費の抑制を図りつつ、事業が成立するための適正な予定価格の設定手法
		最適な事業者を選定するための落札者決定基準の考え方
	自社の独自性、優位性及び自由提案	
実施方針	取組体制	業務の実施体制と担当チームの特徴
	配慮事項	特に重視する業務上の配慮事項
業務フロー	工程計画・検討手法の妥当性	

6 企画提案書等の提出

提出期限までに技術提案書等が以下の順番で提出されました。

- 1 番目 A者：株式会社佐藤総合計画 九州オフィス
- 2 番目 B者：株式会社建設技術研究所 鹿児島事務所

7 プレゼンテーション及びヒアリング審査

企画提案書の提出順により、各者の発表順を決定し、プレゼンテーション及びヒアリング審査では、プレゼンテーション20分、ヒアリング20分の時間配分で各者の審査を行いました。

8 審査講評

2者からの企画提案は、どちらも本事業の内容を十分に理解した、とても素晴らしいものでした。

まず、次順位者となった株式会社佐藤総合計画九州オフィスは、総合設計事務所の強みを活かしたトータルサポートの実施などの自社の独自性を活かした提案について好感が持たれました。また、ヒアリング審査において、質問に対する回答も的確で高い取組意欲を感じました。

一方、最優秀者となった株式会社建設技術研究所鹿児島事務所は、担当チームに学校給食のPFI事業の実績が豊富な技術者を配置し、そのバックアップ体制も整っていたことや、地元事業者の積極的な参入を促す仕組みの構築などの独自提案などが評価されました。

それらを踏まえ審査委員8人は採点を行い、その結果、株式会社建設技術研究所鹿児島事務所が最優秀者に特定されました。

- 最優秀者 株式会社建設技術研究所 鹿児島事務所
- 次順位者 株式会社佐藤総合計画 九州オフィス